

春色の立教通りーカラスノエンドウ

神様と共に

校長 吉野 光

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。神様の守りのもと、学びや良き仲間づくりなど数多くの経験を重ねていって下さい。さて、皆さんが学校生活を送るこの立教池袋中学校・高等学校は、今から150年程前に立教学院の母体となるアメリカ聖公会から派遣されたチャニング・ムーア・ウィリアムズという宣教師によって開かれた立教学校が前身です。それ以来、本校では揺らぐことのない建学の精神である「キリスト教に基づく人間教育」を続けています。これを、立教学院の一貫連携教育といい、「共に生きる力」を身につけることと、「テーマを持って真理を探究する力」を身につけるという2つの教育目標を、立教池袋中学校・高等学校だけでなく、立教小学校から立教大学まで同じ目標で取り組んでいます。

「共に生きる力」を身につけることは、世界にはどんな人がいるのかを知ることから始まります。いま世界では、豊かで安心な生活を送っている人もいれば、貧困や紛争、地球環境の急激な変化や災害により住む場所を失っている人もいます。また、身近にも病气や人間関係でつらい思いをしている人もいます。そんな人々を知ったり、出会った時、私たちは神様から「あなたには何が出来るのか」「あなたはだれのために生きるのか」を問いかけてらるるような気がします。その時は、ぜひ聖書やお祈りで、神様の言葉を聞いてみてください。神様は

その大切な出会いの方法も教えてくださると思います。「テーマを持って真理を探究する力」を身につけることとは、「自分が何のために学ぶのか」に出会うことから始まります。めまぐるしく変化する現代社会、雄大な自然や、世界の情勢、歴史や文化、芸術など、皆さんがこれから探求するジャンルは多種多様です。学校生活の中で、「それは何のために学ぶのか」を大切に、目で見て体で感じ、自分の考えをまとめてください。皆さんが取り組むそのテーマは無限です。その経験を重ねる時、皆さんには「どんな人」と「どんな出会い」があるでしょうか。皆さんには、お互いの人柄や考えを尊重しながら、常に「自分は何のために学ぶのか」「隣人と歩むとは何か」等、学ぶ目的を考えた上で、じっくり時間をかけてまとめていく力を身につけていただきたいと思っています。時には自分や仲間が困難に陥ることもあるかもしれませんが、皆さんにはその試練を乗り越える力を身につけてほしいのですが、自分の力で乗り越えるにはつらいと感じた時、あなたの隣には力を差し出してくれる人が必ずいます。そして、周囲の人に助けられて困難を乗り越えられた時、次はあなたが重荷を抱えた人を支え、希望を与える人となってください。

神様に見守られ、お互いの存在を大切にしたい、広く深い視野を持って自分のあり方を考える、しなやかな人となるよう皆さんを応援いたします。

紳士たれ Be Gentleman

中 一組 主任 より

「紳士たれ Be Gentleman」札幌農学校初代教頭として招かれたクラーク博士は、学生の規則をこの一言で示しました。学生を細かいルールで縛るのではなく、自ら考えてあるべき姿を行動で示すべきである。そんな思いが込められているのではないのでしょうか。これから始まる中学校の生活において、学びに取り組み姿勢、友達との関係、身だしなみや日常の立ち振舞いなど、自らを律する機会が多くあるでしょう。そのようなときこそ、この言葉を思い出して欲しい。「目を覚ましていなさい。信仰にしっかりと立ちなさい。何事をも愛をもって行いなさい。」(コリントの信徒への手紙一 十六章十三節) 十六時でも、何処でも、愛をもって堂々と行動する。その姿こそが「紳士」たることだと思います。(二組 後藤 寛)

君たちの見る世界

一組 主任 より

「自分たちの作るもの、発見したことは、世紀の大発見で、大発見である」と、あの頃の私たちは心の底から信じていたのだ。今年度の入試で出題した「変な奴やめたい。」の一節。何も知らないからこそ、初めて見た景色に圧倒される。そこに咲く草花に感動する。君たちの新鮮な感覚で、その目で見る世界を面白がって欲しい。一方で知っているからこそ、胸が躍る瞬間もある。昨年、授業で久しぶりに読んだ「竹取物語」。星新一さんや江國香織さんの描く「竹取物語」は、またその世界を広げてくれた。君たちは知らない世界も知っている世界も楽しめるもの、君たちがこの自由の学府で見つける夢中になれるもの、それは世紀の「大発見である」と信じている。(二組 村野佳代)

今日の自分を明日の自分が覗いている

三組 主任 より

先日ふと思い立って国語科の先輩をどこまでさかのぼれるか、図書館で古い資料をひっくり返してみた。お名前を確認出来る限りで大正八年に着任された花房正雄先生という方までたどり着けた。実に一〇〇年以上前のことである。勿論花房先生の前にも諸先生方がいらつしやるわけで、改めて自分の一生の小ささを感じさせられた。「伝統校」という言葉はあまり好きではないが私たちの学校が積み重ねてきた地層は確かに厚い。そのような学校の一員となるのはどういふことなのだろうか。「伝統」という建前のもと、型にはまっただけで思考を停止させることでは決してないはずだ。君たちの前に一五〇年の歴史があるならば、私が君たちに期待することはその過去を守ることではなく、次の一五〇年の始点となることである。是非この学校を自分たちの色に、鮮やかに染めていってほしいと思っている。まだ見ぬ未来に期待して。入学おめでとう。(三組 高井祐紀)

七転び八起き

四組 主任 より

入学おめでとうございます。中学校生活のスタートにあたり、期待と不安が入り混じった気持ちを抱いている人も多いのではないのでしょうか。中学生になる皆さんに、私から伝えたいことがあります。それは、「学校とは失敗を通して学ぶ場所である」ということです。挑戦することを恐れ、何もしないままでは、大きな成長は望めません。ぜひ、新しいことに積極的に挑戦してください。結果がどうであれ、恐れずに一歩踏み出すその姿勢こそが、皆さんを大きく成長させます。私は、この学年がそのような挑戦を大切にしている人たちが満たされることを願っています。皆さんのこれから先の人生を考えると、中学校の三年間は決して長い時間ではありません。その限られた時間の中で、どれだけ多くの挑戦ができるか、どれだけ自分を成長させられるかが大切です。皆と一緒に頑張ってください。(四組 新島 亮)

高 一組 主任 より

「玲瓏」

ある棋士が好んで揮毫する言葉である。「玲瓏(れいろう)」とは、透き通るように美しいことで、心が澄み切っている意味でも用いられる。先が見通せず、考え方が濁ってしまった、正しい判断はできない。大局に処せよう、常に玲瓏なる心を備えておくことが大切だと説く。

それを実行するには、まず基本的な日常生活をしつかり持つこと、そして時にはその生活習慣をガラリと変えてみる必要があるとも著書では述べられている。入試で書いた君たちの作文を今、改めて手に取る。「義務ではないのだから自ら積極的にならねば」という意識を一新させんとする決意を汲み取る。もう道は自分分づくもの。学年の成長に大きく期待する。入学おめでとう。(一組 吉田清典)

自律と覚悟

「玲瓏」

僕たちが共に生活を始めていくこの立教池袋高等学校は立教大学の一貫校だ。つまり、カリキュラム的には立教大学への内部推薦を一つの目標と定めて三年間学んでいくことになる。一貫校のメリットとは何かと生徒に質問をすると、「大学受験がないから他のことに時間を使える」という返答を典型的に聞く。僕は君たちに一つ問いかけた。「覚悟」はあるだろうか。自由の学府と言われるこの環境を最大限活かすためには、自らテーマや目標を設定し、自ら考え、決定し、行動していくこと(＝自律)が求められる。大学受験という強制作力がないからこそ、軸を持つ自分を律していく「覚悟」が必要だ。でなければ一貫校に通うメリットはない。覚悟がないと、その時間的余裕は惰性を生み、気づけば手元のスマホゲームに時間が溶けていく。その責任を取るの君自身だ。三年後、僕たちが共に立教で生きたことを誇りに思えるよう僕は願って君たちを迎えたい。入学おめでとう。(二組 小林隆史)

春を掴み取る桜

「玲瓏」

桜の開花には、春の暖かさだけでなく、冬の厳しい寒さが必要なのだ。気温が冬の一定期間にしっかりと下がることで目覚め、そこから花を咲かせる準備を始めるのだ。「目が覚めるような出来事が成長を促す」といえば我々にも当てはまるが、気温次第でも当てはまるが、気温次第となる出来事は人それぞれだ。貴重な経験や環境の変化。他者の助言や叱咤が心に強く響くこともあるだろう。苦しい挫折や反省という厳しい寒さに晒されて、やっと目が覚めることもあるかもしれない。自ら求め、挑戦し、這い上がる力を持つているのもまた、春をただ待つ桜と皆さんとの大きな違い。さあ、どんな花を咲かせようか。期待を胸にスタートしよう。入学、おめでとう。(三組 中仙道優真)

失敗しなさい。そうすれば、叱られる。そうすれば、与えられる。(マタイ7:7)

「玲瓏」

よく読まれる聖書の箇所ですね。この聖句の解釈は、「自ら積極的に行動しなさい」といった、ありきたりなものになりがちですが、色々チャレンジしろと言われまが、正解至上主義の現代人にはなかなか難しいことです。成功すれば褒められますが、失敗すると叱られることもあります。私も高校時代、いくつものことにチャレンジし、何回か叱られました。その先生の言いたかったことが分かる気がします。逆に、今でも納得のいかない叱られ方もあります。そういったやり方は自分ではしないようにしています。良くも悪くも、叱られて学ぶことはあります。叱られるのを恐れてチャレンジしなければ、学ぶ機会は少なくなってしまう。フォロワーではなく、リーダーになる学生のために、いっばい失敗しましょう。入学おめでとう。(四組 吉井佑介)

中学新入生のために —心がけて欲しいこと—

小学校時代とちがって交友関係も広がります。放課後のクラブ活動、生徒会活動などで下校の時間帯も変わり、また、授業科目の増加で、家庭での予習、復習の量も増え、そのための時間も必要になってきます。これまでの生活のリズムを、早く中学校生活のリズムに切り替えなければなりません。この切り替えがスムーズにいかないと、遅刻、忘れもの、授業態度、そして持ち物や服装に影響が現れてきます。

① **意欲的・積極的な生活**
自分なりのしっかりした目標を持ち、毎日を生きたきと意欲を持って生活し、ただだらした無気力な生活におちいらないように!!

② **規則正しい生活習慣**
新しい中学校生活に慣れるまでは疲れやすいものです。早寝早起きを心掛け、健康管理に気をつけ、遅

③ **何事にも集中力を**
遊びと勉強の「けじめ」が大切です。貴重な時間を最大限有効に使う工夫をしましょう。特に授業に対する集中力を!!

④ **忘れ物防止のために**
本校では、各種の提出物が多いので、教具教材はもちろんのこと、提出物等については期限をしっかりと守って下さい。メモ帳を一冊用意して、整理のメモをとる習慣を身につけて下さい。約束を守ることが生活の基本です。

⑤ **友人を大切に**
自分のわがままを抑え、困っている人や弱い立場にある人に優しい思いやりやりの気持ちを持つようにしましょう。お互い尊重し合ひ、友人を大切にすることは、自分の学校生活を楽しくする原動力になります。

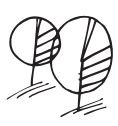
⑥ **学校生活を積極的に**
充実した学校生活は、学習活動、クラブ活動、生徒会活動のバランスによって成り立ちます。特性、適性を十分考え、自分の意志で

⑦ **「朝の読書」の習慣を**
読書は心の糧と昔から言われています。一年生では、朝の八時一〇分から二〇分まで、クラスにおいて「朝の読書」を実施しています。図書館や先生方から推薦されたよい本を自分からすすんで読んでいきましよう。忙しい朝の十分間をぜひ、「心の糧」の時間としてください。

⑧ **家庭での役割も**
中学生になったのを機会に、今まで親に頼っていたことを自分の仕事に切り替え、家族の一員としての立場を自覚し、自らの責任において、その役割をしっかりと果たして下さい。自分のことを自分で行う身辺的な自立のできないものは、人格的な自立もできないものです。

⑨ **学校生活の心得**
学校の秩序を維持するためにいろいろな規則があります。新入生諸君はルールを守って、楽しい学校生活を送りたいものです。

(赤い冊子『スクールハンドブック』をよく読んで下さい。)



【学校時】
始業・終業などの、時間の区切りは次の通りです。
※水曜日は朝礼のため始業は八時です。

始業	8:20
学活	8:20~8:30
1	8:30~9:20
2	9:30~10:20 (モーニングブレイク)
3	10:35~11:25
4	11:35~12:25 (昼休み)
5	13:10~14:00
6	14:10~15:00

※土曜日は四時間目終了後、昼食・学活を行い、終業となります。
※下校時刻は、土曜日を含め、一七時五〇分です。

【教科担任制】

教科	時数	担当
国語	5	高井・村野・永田・岡谷
社会	3	重原
数学	4	伊藤
理科	3	後藤(寛)
音楽	1	藤井
美術	1	中仙道
保健	3	山崎・後藤(啓)
技術	2	伊神
英語	7	新島・藤本・菊池・初瀬川・ターコット・ロバートソン
聖書	1	佐山
礼拝	1	李・佐山・組主任
学活	1	組主任

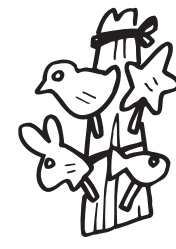
中学校では、教科によって先生が変わります。時間割はいずれ発表になります。上記が科目と担当の先生です。

選修教科(二時間)については、後日プリントで詳しく説明します。

【弁当】
中学校では、給食がありませんので、原則お弁当を持参してください。育ち盛りの中学生には、ボリュームや栄養の点から考えても、家庭から持参するお弁当が必要というのが本校の方針です。ただし、様々なご意見を取り入れ、玉子屋のお弁当配達サービスも導入しています。利用の際は、専用のアプリから注文してください(詳細は別途案内を参照)。また、カフェテリアでは、おにぎりやパンなどを販売しています。これはあくまで軽食という位置付けです。中学生は心身の成長が著しい時期ですので、バランスの良い食事を心がけ、しっかりと栄養を摂りましょう。

【欠席遅刻早退などの場合】
欠席・遅刻・早退などの場合は、連絡システム(BLEND)を利用し、当日の朝八時までに連絡してください。緊急時には、以下の職員室直通の電話番号まで連絡願います。

職員室直通の電話番号
03-3985-2713 (中1・中2)
03-3985-2714 (中3・高1)
03-3985-2725 (高2・高3)



保健室だより
▽開設時間—八時~一七時五〇分(土曜日は一三時二〇分)。ただし、一二時二五分~一二時四〇分は緊急の場合のみ。
▽利用方法—具合の悪いところをはっきり言って指示に従うこと。また、処置を受けた人は必ず名簿に記入すること。
▽体育見学届—具合が悪くて体育を見学する時は、届の用紙に記入し、保健体育担当の先生の許可を得ること。見学届の用紙は保健室にあります。
▽毎週月曜日の一二時~一三時三〇分は、校医が来校します。

オリエンテーション
中学新入生諸君は、七日(火)~一〇日(金)まで、学校生活に慣れる期間として、授業を行わず、担任から学校生活の案内などを行います。詳細は別紙プリントを参照して下さい。

保護者会の御案内
前期の行事予定は、別紙プリントを参照して下さい。早速ですが、四月一日(土)午後二時三〇分より各組教室にて、第一回の組別保護者会を行います。ご出席下さい。

相談室から
ひとりでも悩まず相談しよう
立教池袋中高には、皆さんの心の整理や問題解決の援助をするために相談室があります。学習や進路のこと、家族や友人などの人間関係のこと、自分の健康や性格のことなど、どんなことでも相談に来てみて下さい。内容についての秘密は守られます。
相談申し込みは保健室で受け付けます。

十 今月の聖句
だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです。
—コリントの信徒への手紙二 5章 17節

人間に与えられている一つの特権であり祝福は、もう一度新しく始めることができることです。キリスト教は、人間の罪よりも神の恵みの方がはるかに大きいと教えます。人は自分の力では罪から自由になることはできませんが、神の恵みは私たちが罪から解放し、新しい人生へと導きます。
そして、その恵みが私たちの人生の中に現れる一つの姿が、人は新しく始めることができるという事実です。新しい学年が始まりました。リッキョウの学生と教職員が、この新しい学期と学年を神の恵みが込められた時間として受け止め、喜びのうちに新しい歩みを始めることができますように。

(チャプレン 李相寅)